

平成 29 年度サービス第三者評価（公益社団法人全国有料老人ホーム協会）

法人名	株式会社 生活科学運営		ホーム名	ライフ&シニアハウス千里中央		ID	2922	
	評価機関	株式会社 ケアシステムズ				評価日	2018/1/16	
スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	B	B	2.3.7	B	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	A	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	B	A	2.4.2	B	A	6.2.9	B	B
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	B	B
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	C	C
1.4.5	B	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	B	B	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	A	A	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	B	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	B	B	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	B	B
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	B	B
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	C	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

評価機関所見（評価機関記入シート）

◆優れた取り組みと思われる点	
スケールNo.	所 見
2-1-1	企業理念が地域コミュニティとの融合を目指しており、その実現のために地域との連携を積極的に行い、近隣幼稚園からは毎月年中組の訪問を受け、多目的室を地域に教室などのスペースとして解放している。また屋外庭園（なごみガーデン）の利用をして、今後社会福祉協議会が取り組んでいる男性の地域参加を目的とした「豊中あぐり」の一環で、入居者の理解も得て進めているなど、地域コミュニティとの融合実現に向けた取り組みを継続的に進めている。
1-4-4	役割の文書化や、自己啓発の支援のほか、勤務意欲向上を目指し、関西エリアのグループの所属職員個々にスポットライトを当てて取り上げる関西エリア新聞の発行をスタートさせて、職員のモチベーションをあげることに取り組んでいる。今年後半は離職者が少なく定着率アップに繋がってきている。また、新入職員に向けたオリエンテーションマニュアルを充実させている。スタッフより一緒に頑張ろう！とのメッセージを書く、リスク、労務管理、体調管理、接遇・マナー、まとめプロ意識を持つてといった内容で4時間のオリエンテーションプログラムが策定され運用されており、新入職員の定着と教育に繋がっている。
6-2-8	家族の施設への訪問頻度が高いことから、訪問時にはハウス長をはじめ職員が必ず声をかけ入居者の生活や体調の変化等について家族に報告し情報を共有することで、日頃から家族との信頼関係が築けるよう取り組んでいる。遠方等の諸事情により訪問できない家族に向けては、電話やメールで様子を伝えるようにしており、緊急時等にも連携が取れるように備えている。また、懇談会以外にも年忘れ会や夏祭り等の行事には、家族の参加を呼びかけており、入居者や職員とともに楽しんでもらえるように努めている。
7-5-7	認知症の入居者の行動特性等については、折に触れ入居者だけでなく家族にむけても説明するように心がけており、情報を共有することで理解や協力を求めている。年間を通して実施されている施設内の様々な行事の際には、各フロアの入居者が集まり一緒に過ごすことも多くあるため、自然な交流を通して理解につながるよう支援している。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケールNo.	所 見
2-3-3	現在ハウス長面談で入居者の意向を直接聞き、入居者満足につなげているが、今後自立型へのアプローチとして入居者のニーズが多様化してくる中、どのように個別のニーズを捉え、またそのニーズに対して組織としてどこまで答えて行くことが出来るのか、入居者の質の多様化、ニーズの多様化に向けた対応について準備を検討されたい。
1-4-5	昨今の人材不足の中、職員の定着に向け一定の成果を得られる取り組みが進んでいるが、新たな募集についての取り組みが期待される。職員の高齢化に向けた技術継承、スタッフレベル向上に向けた仕組みづくりを進め、また入居者参加型のイベントや、シニアハウスの中でボランティアを募集できるように講習会などの計画や利用者の参加を協力してもらえよう取り組みも計画しているので実現に向け進めて欲しい。
2-1-2	全体の事業計画はあるが、食事・生活・介護等の業務部門ごとに年間の事業計画が策定されていない点が気になる。運営は問題なく進められているが、事業部門ごとの計画の策定を期待される。